

Matrox Extio™ 3

放送・映像制作の現場に最適化した IP KVM エクステンダー



Matrox Extio™ 3

Extio3は、4K60pだけではなくHD映像の最大4チャンネル同時伝送にも対応するKVMエクステンダーです。標準の1ギガビットイーサネット ネットワーク上で低ビットレートでの伝送を実現でき、放送環境に最適です。また、Extio3は、標準のCOTSネットワークスイッチと連携して、LANまたはプライベートWANに対応。拡張性とコストパフォーマンスに優れたIP KVMマトリックスソリューションを実現します。オペレーターは低ビットレートで、遠隔からコンピューターに安全にアクセス、共有、および制御することができます。



放送・映像制作の現場に最適なソリューション

多くの視聴者を魅了するためのコンテンツを制作し、放送・配信するためには、快適かつ集中して作業が行える環境が必要です。

Matrox Extio3は、映像のプロが作業するのに理想的な環境を実現します。

PCや放送機材には、スペース、熱、騒音などといった問題が付随しますが、Extio3を使用することで、これらの機材を専用ルームに集約し、システムを最適に活用することが可能となり、重要な仕事に集中できます。

ポストプロダクション、コントロールルーム、中継車など、映像を取り扱うそれぞれのケースにおける活用法をご紹介します。



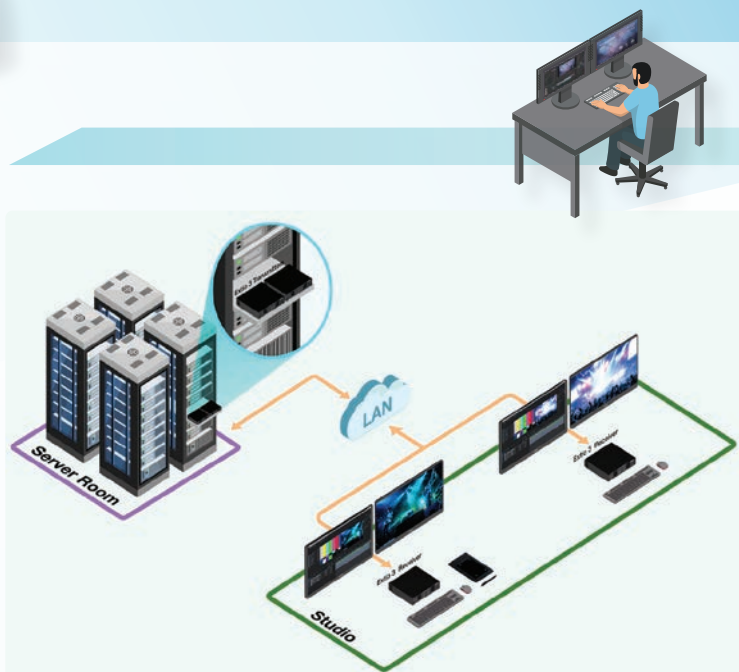
ケース1 | ポストプロダクション

Extio3によりPCを安全なサーバールームに集約し、システムをエディターから遠ざけながら、セキュリティを向上することができます。エディターは、別の部屋から、もしくは別の建物から、あるいは別の街から複数のPCを遠隔制御できます。

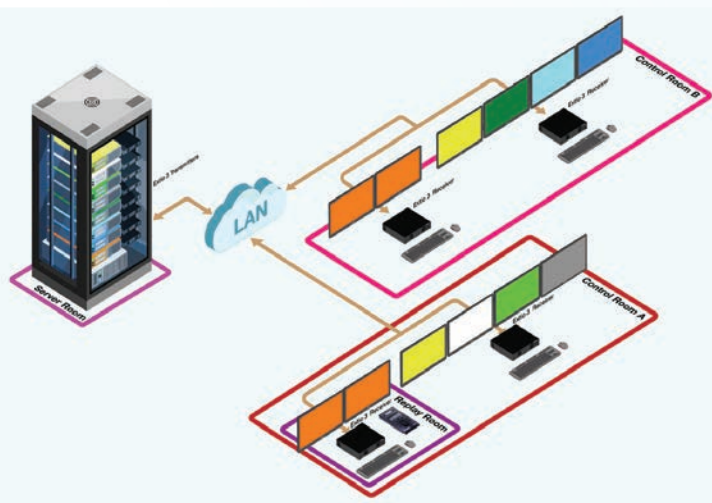
PCのファンなどの騒音や熱、そしてスペースの問題も解決できます。一方で映像編集の現場では、映像および音声は高品位に維持される必要があります。

Extio3は汎用のギガビット・イーサネットワーク環境で4K60p 4:4:4に対応するため、品質においても妥協なくご使用いただけます。

遠隔制御であっても、あたかも真横に備え付けたPCを制御しているかのような高品質と操作性を実現します。



ケース2 | 放送局 中央制御室



Extio3の活用は、システム運用の無駄を省き、コスト管理を容易にし、社内と社外の共同作業を容易にします。システムを安全なサーバールームへ移動させ、制御室からIPを介して任意のPCを制御できます。ここで必須となるPCの切り替えが、スムーズな作業をするためのポイントとなります。

Extio3はMatrox独自の“アグリゲーターモード”機能に対応しています。この機能は、Extio3受信機1台で複数のPC(最大4台)からの出力をマルチディスプレイで同時表示させ、シームレスに切り替え制御できる機能です。この機能により、オペレーターはExtio3受信機に接続したマウス・キーボードを使って、最大4つのPCの出力を同時に確認しながら、対象のPCをシームレスに切り替えて制御できます。

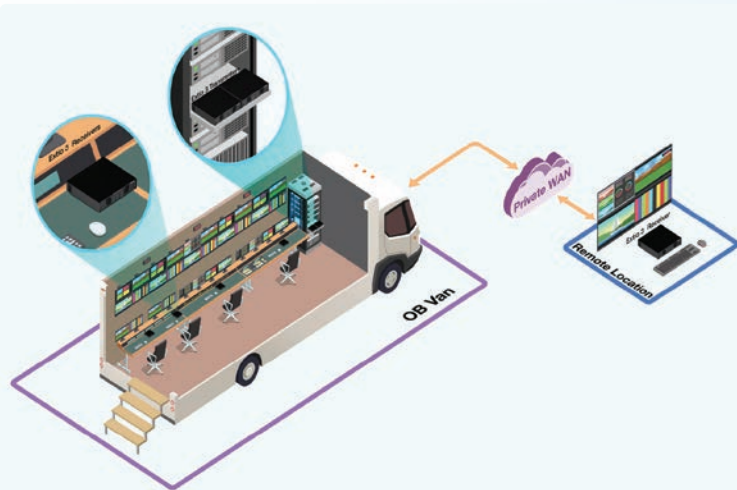
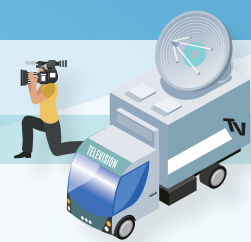
オペレーターは移動せずに、一つの場所から複数のPCを制御できるため、作業効率の向上にもつながります。放送施設では膨大な量のコンテンツが制作されているため、セキュリティも最重要ですが、Extio3はコンテンツの機密性を保護するために、高度な暗号化プロトコル、パスワード保護、およびActive Directory認証を提供します。

ケース3 | 中継車

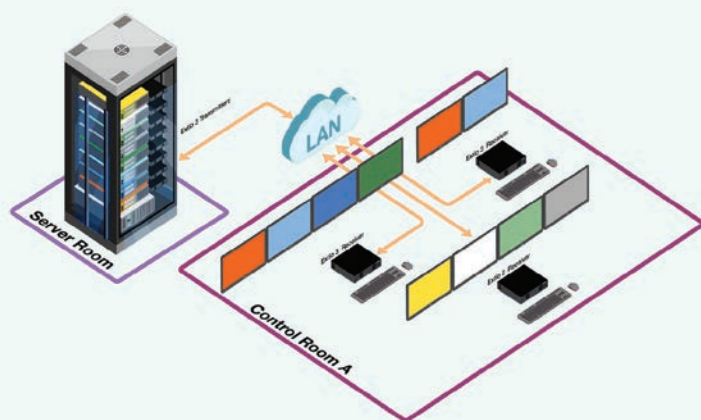
中継車はライブ放送に使われることが多く、状況に応じて柔軟に様々なワークフローに対応できることが必要となります。また、中継車内は比較的狭く、スペースの有効活用が必要となりますが、Extio3はこれらの課題も解決します。

まず、中継車で使用するワークステーションはマルチディスプレイ機能を活用することにより、ラックにまとめて集中管理が可能となります。一か所から複数のPCの出力を同時表示させて、マウスとキーボードだけで制御でき、多くの周辺機器が不要になります。

また、Extio3は、一か所から複数のPCを制御できるだけでなく、複数の場所から複数のPCを制御することもできます。中継車では、録画機、再生機、切り替え機など様々な機材の制御が必要となりますが、必要な場所から必要な機材へのアクセス・制御が可能であるため、柔軟に様々なワークフローに対応します。さらに、Extio3はプライベートWANにも対応しており、遠隔からのモニタリングおよび制御を可能にします。



ケース4 | ラジオ局 中央制御室



Extio3を活用することで、オーディオ処理用のPCや自動送出サーバーなどをサーバールームに安全に配置できます。このため、音声を扱う現場では最重要課題となるPCの騒音問題を解消できます。

また、複数人で一つのシステムを制御できるため、効率的に運用できます。

マルチディスプレイ機能により、自動送出のスケジュールを一覧できることも生産性向上につながります。ラジオ制御室では、Extio3の“アグリゲーターモード”が便利です。このモードでは接続されたPCの出力が1台のディスプレイに最大4つ表示され、マウスとキーボードでシームレスに制御できます。

Extio3は、標準のギガビットイーサネットを介して低ビットレートでKVM信号を配信できるため、ネットワークへの負荷も少なく、拡張が必要な際にもネットワークの配備や複雑な設定は不要です。大量のコンテンツを取り扱う放送施設では、セキュリティも最重要ですが、Extio3にUSBデバイスを使用する際には、ホワイトリストを参照して危険を回避します。



Matrox について

Matrox 社は、1976 年創業。カナダ・モントリオールに本社をおき、Graphics、Video、Imaging の3つの分野で先進的なソリューションを提供しています。Graphics部門ではグラフィックボード、グラフィックボックス、出力延長ユニットを提供し、オフィスユースから医療・金融・サイネージなど幅広い分野で採用されています。Video部門では放送用デジタルビデオ I/O デバイスや各種コンバーター、ライブ・ストリーミングデバイスや、OEM開発用製品等、幅広いラインナップを提供しています。

お問合せ先



ジャパンマテリアル株式会社

グラフィックスソリューション部

E-mail : sales-IT@j-material.jp URL : www.jmgs.jp

東京本部

〒102-0082 東京都千代田区一番町 5-3 アトラスビル4F
TEL : 03-6261-0386 FAX : 03-6261-0387

名古屋営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-24-5 第2森ビル8F
TEL : 052-526-1777 FAX : 052-526-1778

※ 本カタログの記載内容は、2020 年 11 月現在のものです。
※ 記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。
※ 記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。